

FPT 会（ファシリテーション・プロジェクト・チーム会）の取組について

教職研修部 中堅教員・人権教育・専門研修担当

1 FPT 会発足の背景

高知県教育センターでは、令和5年度より「新しい学びの在り方」や「研修観の転換」に向けて、研修の在り方の捉え直しを行ってきた。特に、対話による豊かな気づきを醸成するため、グループにおける対話活動の中核に据えた研修を開発してきた。研修では、対話や内省の時間を設けるものの取組の紹介に終始し、気づきや理解が深まらないこともある。その際、研修担当者やファシリテーターからの工夫された問いかけや話題提供等があると、対話や内省に深みが生まれやすくなる。実際に、当センターで5月に実施した、発展期教諭等研修におけるアンケート結果を分析すると、対話によるグループ形成が効果的に機能し、受講者の満足度が高いことが確認された。しかし、同時に、センター職員によるファシリテーションの必要性も強く認識され、今後の研修をより円滑に進めるためには、センター職員自身の研修参加経験を増やし、対話のよさ、グループのよさを体感的に理解し、ファシリテーターとしての能力を向上させる必要があるという課題が浮き彫りになった。

そこで、ファシリテーターの心構えや役割、問いづくりを共に学び共有するために、FPT 会が発足した。

2 FPT 会の概要

設立目的

多様性を価値に変える出会いと対話の場を共創していく。

重点取組

① 実践的な学びの場を提供

研修マネジメント力協働開発プログラム全国版やNITS 研修マネジメント力協働開発プログラムを受講した職員が、自身の学びを活かして、他の職員への指導や実践的な研修を実施する。これにより、職員全員が体感的・実感的に新しい学びを体験できる機会を提供する。

② 研修観の転換を促進

従来の研修形式にとらわれず、より実践的で効果的な研修方法を模索し、研修観の転換を緩やかに進める。

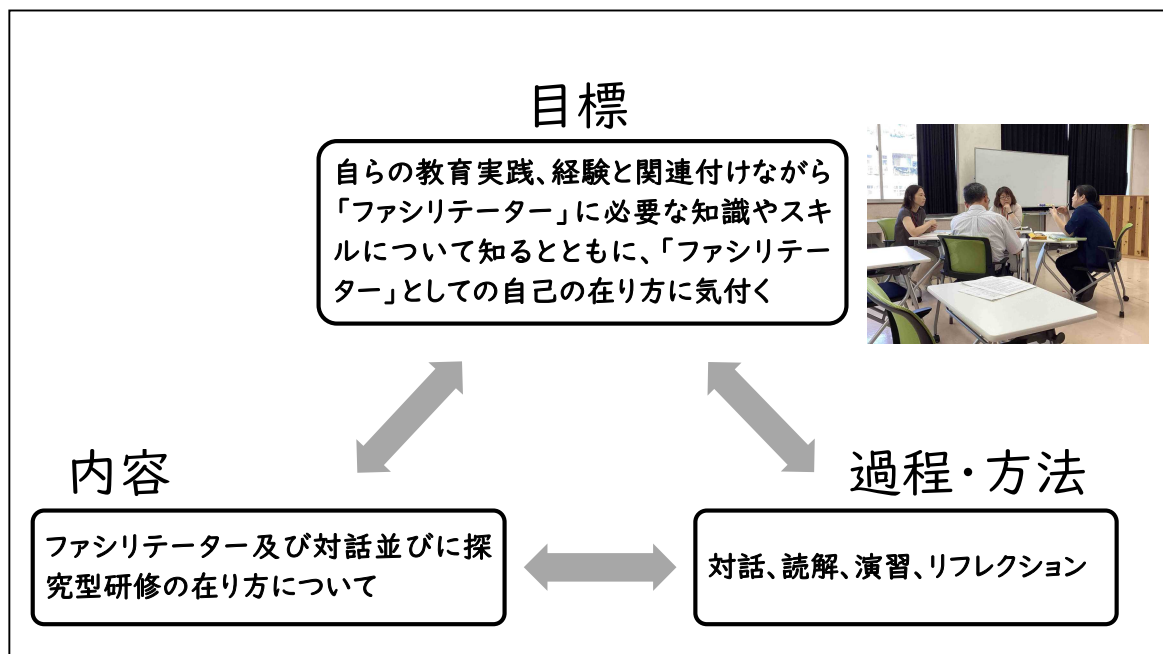
③ 学びの共有と発展

FPT 会を軸として、各ラインへの学びの波及を図る。各ラインの課題やニーズに合わせた研修プログラムを企画・運営・実施することで、組織全体のレベルアップを目指す。

ファシリテーションスキルの向上を図るとともに、「研修観の転換」に向けた対話のきっかけとし、協働しながら試行錯誤を重ね、自身の研修運営について振り返る中で、研修の在り方への気づきを深めながら組織全体の活性化につなげている。

活動内容

◆FPT 会を実施するにあたり、学習指導要領で提起された考え方を参照しながら、下図のような三角形に図示し、視覚的に整理した。



◆FPT 会の実施内容

